

排出状況報告書（特定大規模事業者用）

平成 27 年 7 月 28 日

神奈川県知事殿

郵便番号 130 - 0026  
住 所 東京都墨田区両国2-10-14  
両国シティコア3階  
氏 名 株式会社ルネサンス  
代表取締役社長執行役員 吉田正昭



神奈川県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名		株式会社ルネサンス 代表取締役社長執行役員 吉田正昭			
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア3階			
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計量		3,340 kl
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）		うち	1,724 kl
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	使用台数	うち	kl 台
主たる事業の業種	大分類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業 <input type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input checked="" type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> R サービス業（他に分類されないもの） <input type="checkbox"/> S 公務（他に分類されるものを除く）			
	中分類				
連絡先	部署名 施設開発部 施設管理チーム 電話番号 03 - 5600 - 5441 FAX番号 03 - 5600 - 5359 電子メールアドレス suzuki_setsuko@s-renaissance.co.jp				

※受付欄		※特記欄	
------	--	------	--

(第2面)

2 計画期間

25 年度 ~ 27 年度	報告対象年度	26 年度
---------------	--------	-------

3 エネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	24 年度 ( 年度~ 年度)		最終年度における排出量の合計量	(実)	3,168	tCO <sub>2</sub>
	基準排出量の合計量	(実)	3,200		(実)	3,168	
	報告対象年度における排出量の合計量	(調)	3,200		(調)	3,168	
県内に設置している全ての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類	利用者数	排出量原単位の単位		tCO <sub>2</sub> /千人		
	基準年度における排出量原単位	(実)	2.58	最終年度における排出量原単位	(実)	2.55	tCO <sub>2</sub> /千人
	報告対象年度における排出量原単位	(調)	2.58		(調)	2.55	
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p>■26年度もエネルギー効率化投資を積極的におこなったが、26年度より利用者数の考え方が変更になり、結果的に利用者数が以前より減少したため排出量原単位が基準年度に比べ悪化した。27年度に関してもLEDやインバーターなどの省エネ機器を積極的に採用し、削減目標達成を目指す。</p> <p>■節電対応 外気を利用し、空調使用時間を短縮するよう取り組んでいる。 節電ポスターの掲示などで利用者へ節電取組みへの理解を促している。</p>						

設置している全ての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(実)	tCO <sub>2</sub>	最終年度における排出量の合計量	(実)	tCO <sub>2</sub>
		報告対象年度の排出量の合計量	(調)	tCO <sub>2</sub>		(調)	tCO <sub>2</sub>
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類	排出量原単位の単位		排出量原単位の単位		
基準年度における排出量原単位		(実)	(調)	最終年度における排出量原単位	(実)	(調)	
報告対象年度における排出量原単位		(調)	(調)		(調)	(調)	